



■ 病気の概要

本来は肝臓を通るべき血液が、異常な血管（シャント血管）を経由して肝臓を通らなくなってしまう先天性疾患です。解毒されないアンモニアなどが脳に届き、神経症状を引き起こします。ヨークシャーテリア・マルチーズ・シー・ズーに多く、若い頃から発育不良や食後の神経症状として気づかれることがあります。

■ 主な症状（飼い主さんが気づくサイン）

- ・ 兄弟・姉妹より体が小さい（発育不良）
- ・ 食後にぐったりする・フラつく
- ・ ぼーっとしている・視線が合わない
- ・ けいれん発作
- ・ 血尿
- ・ 過度のよだれ・嘔吐

■ どんな検査をするの？

- ・ 血液検査（肝酵素・胆汁酸・血中アンモニア値）
- ・ 腹部超音波検査
- ・ CT 検査（シャント血管の位置確認のため、専門施設をご紹介します）
- ・ 尿検査

■ 治療方法

内科治療

- ・ 低タンパク食・肝臓サポート食
- ・ ラクツロース（腸内アンモニア産生を抑制）の内服
- ・ 抗菌薬の内服
- ・ 抗てんかん薬（けいれんがある場合）の内服

外科治療

- ・ シャント血管閉鎖術（根治治療）：術前に専門施設での CT 撮影が必要
- ・ 術後の定期的な血液検査（胆汁酸測定）

■ ご家庭で気をつけること

- ・低タンパク療法食の継続
- ・けいれんが起きたらすぐに受診
- ・術後は定期的な血液検査

■ よくある質問

Q. 手術で治りますか？

A. 多くの症例で症状が改善します。完全閉鎖できた場合の予後は良好で、通常の食事に戻れることもあります。

Q. 手術しないとどうなりますか？

A. 内科管理だけでは根治できず、長期的な肝障害が進行する可能性があります。

Q. CTはどこで撮るの？

A. CT撮影は当院では行っておらず、提携の専門施設をご紹介します。シャント血管の位置確認に重要な検査です。

Q. いつ手術するのがいいですか？

A. 若いうちに行うほど予後が良い傾向があります。ご相談ください。

■ なつ動物病院での診療について

診断・内科管理から手術まで当院で対応します。術前 CT のみ提携施設での検査をご案内します。「発育が遅い」「食後に具合が悪そう」という小型犬はご相談ください。

なつ動物病院 気になることがあれば、予約外でもお気軽にご来院ください